



キラめけ!



地球のヒカリを
灯そう...



リサイクルキャンドル

EARTH HOUR とは...
毎年 3 月末の土曜日に、世界中の人々が同じ時刻に消灯するアクションを通じて『地球の環境を守りたい!』『地球温暖化を止めたい!』という意思を示す、世界最大の環境キャンペーンです。日本のアースアワーでは、2011 年の東日本大震災を受けて、消灯アクションとともに被災地への祈りを捧げています。

もう一度生まれ変わらせよう!

使っていくうちに変形して溶けてしまったり、芯が切れてしまって着火できなくなってしまったキャンドルはごさいませんか?キャンドルの素材であるパラフィン、蜜ロウ、パーム油、大豆、その他すべてのロウは地球からの貴重な贈り物です。いつまでもキャンドルを灯せる美しい地球であるように祈りを込めて、キャンドルを生まれ変わらせて、アースアワーで灯してみたいかが?
キャンドルの作り方についてアドバイスを頂いたのは、キャンドル作家の mie さん!

- 〈用意するもの〉
- 溶けたり、着火できなくなったキャンドル
 - タコ糸
 - 湯せん用の、一回り大きいお鍋
 - 柄付きのボウルやお鍋
 - シリコンカップ
 - わりばし
 - はさみ
 - (あれば温度計)



©A.Yamamoto/WWF Japan

1) キャンドルを溶かそう

キャンドルをお鍋に入れ、湯せんにかけて溶かします。(一般的なパラフィンの融点は約 60 度くらいです)

※Attention
お湯がはねて溶けたキャンドルに入ると危険です。お湯はぐつぐつと沸騰させないようにしてください。また器火で溶かすと大変危険なので必ず湯せんで溶かしてください。
色や香りの異なるキャンドルなど素材や色が違うものを混ぜないでください。



©A.Yamamoto/WWF Japan

2) キャンドルの芯を作ろう

キャンドルが完全に溶けたら、流す型の高さの 1.5 倍くらいの長さにタコ糸を切り、溶けたキャンドルの中に浸します。

タコ糸が浸ったらわりばしですくい、余分なパラフィンをしごくようにしてタコ糸をまっすぐに形成し、固めます。固まったらわりばしに挟み、シリコンカップの真ん中にくるようにセットします。

溶けたキャンドルをシリコンカップに注ぎます。

3) 型に流し込もう

(注ぎにくい場合は紙コップなどに移すと注ぎやすいです)



©A.Yamamoto/WWF Japan

★ワンポイント!

直径が大きくて浅い容器だと、キャンドルを使っていくうちに周りだけが残ってしまうので、直径が大きい場合は深めの容器がおすすめです。

4) 仕上げ

キャンドルが固まったら、容器から外して、5mm くらい残してタコ糸をはさみで切って完成です!

※Attention

・キャンドルを溶かした後のお鍋に残ったパラフィンは、溶かしてティッシュや布キレで拭き取るか、わりばしなどでそぎとって捨ててください。流しなどに捨てると、固まって排水溝の詰まりの原因となりますので、ご注意ください。
・パラフィンが直接触れたお鍋、シリコンカップなどは、調理用には使わないようにしてください。



©A.Yamamoto/WWF Japan

※Attention

・キャンドルは灯している最中に溶けたロウが流れ出る場合があります。かならず不燃性の水平な受け皿の上に置いてご利用下さい。また、燃えやすいものが近くにないか、強い風で倒れることがないかを確認し、燃焼中はそばを離れないようにしてください。

ひとこと

mie さん / キャンドルアーティスト協会所属

高品質な素材で人にも環境にも優しいキャンドルライフの楽しみ方を提案しています。見た目のかわいさももちろんですが、火を灯した時の光、影、表情や溶けていく様子によりまた成長するキャンドル作りをめざしていきたいと思っています。展示会、個展、クラフト市などでの作品販売。ライブやイベントでのキャンドルコレクション、また不定期でワークショップを開催しています。

ウェブページ⇒<http://lvcandle.web.fc2.com/>

(NPO 法人)キャンドルアーティスト協会⇒<http://www.candle-artist.org/>



©A.Yamamoto/WWF Japan

